

「父の日は牛肉を食べよう。モ～モ～キャンペーン!!!!」

メディア向けPR発表会を開催

辻希美さんが家庭で思わず、「モ～！」とってしまう

杉浦太陽さんの行動を、やわらかジューシーな牛肉でハッピーに解決！

オーストラリアの牛肉・羊肉生産者団体「ミート・アンド・ライブストック・オーストラリア」(本社:オーストラリア・シドニー、以下「MLA」)は、2026年6月16日(火)、ベルサール六本木 ホールBにて、「父の日は牛肉を食べよう。モ～モ～キャンペーン!!!!」メディア向けPR発表会を開催いたしました。本キャンペーンのアンバサダーである杉浦太陽さん、辻希美さんご夫妻をゲストにお迎えし、日常の思わず「モ～!」と言いたくなるお互いのエピソードや、家族の絆を深める食卓のあり方についてお話しいただきました。



その後、キーワードである「モ～!」にちなみ、辻さんから杉浦さんに対する日々の「モ～!」とってしまった出来事を披露する企画を実施しました。辻さんがエピソードの強さに応じて「モ～!札」を上げると、スクリーン上のカウンターがリアルタイムで連動してカウントアップしていくユニークな演出で会場を沸かせました。一方で、普段はなかなか口に出せないこは本当に感謝しているというエピソードについてもトークを展開しました。お子さんたちと杉浦さんがやり取りする姿を見て微笑ましく思う瞬間についてもお話いただき、家族の深い絆が垣間見える時間となりました。





イベントの冒頭では、MLA駐日代表のトラヴィス・ブラウンさんが登壇し、日本国内におけるオーギー・ビーフの取り組みと本キャンペーンの意義についてご挨拶申し上げました。安全で高品質なオーストラリア産牛肉を日本の食卓へ届けることの大切さと、父の日という特別な機会を通じて家族全員で美味しさを分かち合う魅力を力強くアピールしました。

【トラヴィス・ブラウンさん コメント】

日本の食卓で50年以上の歴史を持ち、輸入牛肉トップシェアを誇るオーギー・ビーフは、その確かな美味しさと厳格な品質管理による安全性で高い信頼をいただいています。私たちは、お正月のおせちのように、「日本の父の日には牛肉を食べる」という新しい習慣を、これからの定番文化として育てていきたいと考えています。焼肉やステーキなど、オーギー・ビーフを家族みんなで楽しむ方法は数え切れません。今年の父の日には、ぜひ美味しいお肉を囲みながら、日頃頑張っているお父さんへ感謝を伝える特別な時間を過ごしてください。



トークセッションの後半には、ステージに特製のオーギー・ビーフ ローストビーフが登場。カウントされた「モ〜！」の数に応じたボリュームでお肉が用意され、そのままお二人へのプレゼントとして贈呈されました。辻さんはこんなに素敵なお肉はずっと見てられる、嬉しいと満面の笑みを見せ、杉浦さんもこんなに美味しいお肉は息子たちにあげるのはもったいないと笑いを誘いました。さらに、プレゼントされたローストビーフをステージ上でお互いに食べさせあいました。お肉のやわらかさとジューシーな旨味を堪能したお二人の姿を通じ、「モ〜！」という不満がすっかり笑顔に変わる、本キャンペーンの魅力を体現した瞬間となりました。

【杉浦太陽さん コメント】

我が家は父の日などの家族イベントはみんなでご飯を食べるのが鉄則です。子どもが大きくなったので、今は週1、2回ほどしか家族で集まってご飯を食われていませんが、先日オーギー・ビーフを夕食に準備したところ子どもたちがすぐに帰宅し一家団欒でオーギー・ビーフを楽しめました。美味しいお肉は家族の絆を深めてくれるなと思いました。お父さんが積極的に育児参加することで家庭内に居場所ができ、頼られて感謝されるようになると思う。全国のお父さん、お互いに仕事も家族も大切にしていきましょう。



【辻希美さん コメント】

私一人で5人の子育てをするのは手が回らないので日ごろからお父さんには感謝しています。先日息子が高校に進学するタイミングで、ネクタイの結び方をお父さんが教えている姿がとても微笑ましくて、つい隠し撮りしていました。お母さんからお父さんに向かって、日ごろの感謝を伝えるのは恥ずかしいと思いますが、今年の父の日はオージー・ビーフと一緒に感謝を伝えて家族で素敵な時間を過ごしてください。



本リリースのお問い合わせ先：
ブランドアンドマーケティングコミュニケーションマネージャー：ダイ ウェンジン
電話：03-4589-0072(直通)メールアドレス：wdai@mia.com.au